

京都府京丹波町プロジェクト 活動報告



石田、磯角、尾崎、権、新川、清野、外山、幅、原、福田、星野

Special Thanks : 山口さん(1期)、宮川さん(1期)、後藤さん

京丹波町について

- ・立地：京都市から車で1時間
- ・黒豆・しめじ・栗などで食で有名
- ・自然豊かだが目立った観光地はない



京丹波町タウンプロモーション方針

京丹波町はタウンプロモーション方針として「GREEN GREEN KYOTAMBA」を設定している。「自然、健康、前向きな姿勢、新鮮さ、成長」といった京丹波町の魅力や価値が込められている。

課題・方針



活動内容の変遷

京丹波町を知る



クリスマスマーケットやGREEN GREEN MARKETといった町内イベントへの参加、町内観光地・農泊への訪問。目立った観光地はないものの、町の人々の温かさや役場の熱量の高さを体感した。

コンテンツの作成



町内の大型イベントにVRコンテンツを出展。ドローンに360°カメラをつけて、春の和知を撮影したが、京丹波「ならではの」魅力を町の人に伝えることの難しさを実感する。

コンテンツの再検討



さとふる祭り2024 in TOKYOでアンケート調査を実施。「リトリート」をテーマに、エクストリームユーザーの傾向と潜在的なニーズを探る。この間、大阪・関西万博で京丹波ブースへの出展が決定。この調査をもとに展示するVRコンテンツの方向性を決定

万博の準備

内容に沿って2つのチームに分かれ、それぞれで映像コンテンツの企画・制作を行った。

バイクチーム

コンセプト：ツール＝ド＝キョータンバ
制作意図：京丹波町のブランドコンセプトである「GREEN GREEN KYOTAMBA」を京丹波町のPRポイントである「緑」から伝えることを目指す。また、GREEN GREEN MARKETでの出展経験を活かし、街の魅力を伝えることができるVR作成のリベンジをする。
内容：ライダーが京丹波（道の駅の花畑、林道、田園沿道など）をバイクで爽快に走る。VR体験者自身はライダーの後ろに同乗している想定。日常の風景、かげがえのない風景を提供する。



おばあちゃんチーム

コンセプト：おばあちゃんとの思い出
制作意図：ふるさと納税イベントで実施したアンケート調査で「行き当たりばったりな家族持ち30代女性」がエクストリームユーザーだと判明した。その対象に刺さると考えられるVR動画を作成することにした。
内容：都会で疲れた30代OLが久しぶりに京丹波のおばあちゃん家に帰省し、ご飯・景色・おばあちゃんの優しさに癒され、そこでの懐かしい思い出を振り返る。京丹波のあたたかさ＝「将来に残していきたい日本の心象風景」を提供する。



→万博で展示し、行かなければ分からない京丹波町の魅力をVRによって伝える。

予告

2025年9月29日(月)ー10月5日(日)
万博出展 @関西パビリオン京都ブース

展示予定のVR動画はこちらから▼



おばあちゃん



バイク

